

地域と一緒に頑張っています

社会福祉法人 さっぽろひかり福祉会は、主に精神障がいをお持ちの方たちの就労支援を行っています。

法人設立時から、地元新道東町内会を中心に組織された「ひかり福祉後援会」の方たちに支えられた地域密着型の事業運営を行っています。

地域と障がい者施設の交流

区内には地域と密着した事業を行ったり、「広報さっぽろ」を配布している障がい者施設があります。そんな地域と障がい者施設の交流についてご紹介します。

地元の方からの支援

光ファクトリーでパン屋をオープンした時にご協力してもらったり、ひかり工房の「パンまつり」などの行事にも参加してもらいイベントを盛り上げていただいています。

また、施設の大掃除のお手伝いもしてもらっています。ワックス掛けや窓拭きまで町内会さんと一緒にしています。冬囲いなど道具持参で手伝いに来ていただき、我々職員も勉強になっています。

お互いに困ったときに相談できる良い関係が築けていると思います。

地域のイベントに参加

新道東町内会さん、北栄連合町内会さんのお祭りや盆踊りなどのイベントに準備段階から参加させてもらい、施設のブースを開いたり、町内会の方々と一緒に焼き鳥を焼いたりさせてもらっています。

毎年、町内会さんと施設の利用者さん一緒にクリスマス会も開いています。また、「やまびこ座」さんのイベントにも参加させてもらっています。

施設の開放

あさかげ生活支援センターでは、地域の方に交流室を開放しています。町内会の会合やイベントなどで使用してもらっています。

施設に本も置いているのですが、学校帰りの小学生が本を見に寄ってくれたりします。

地域の皆様に認められていることが、子どもたちが気軽に施設に寄ってくれる、施設の雰囲気づくりに役立っていると思います。

地域の方と交流

があり、地域に認められているので、利用者さんが施設に通いやすくなっています。私も働いていて楽しいです。



社会福祉法人 さっぽろひかり福祉会
光ファクトリー
精神保健福祉士 みかみ ゆうた 三上 裕太 さん



やまびこ座の夏祭り



町内会のお祭りで焼き鳥を焼いています

